

## おしゅれに進化したカステラ！

お客様から「大きくて食べきれない」や「残るので冷凍している」などと言った意見があり、大きさや形からパッケージまでどうするか話し合いました。子供からお年寄りまでどうしたら食べやすいか、まず決めました。箱に入れおしゅれに進化したカステラが完成したので楽しみに待っていてください。

なかまの工賃向上を目指し、皆様に愛されるクッキー作りをしていきたいと思えます。こくわのクッキーを食べた時には、ご意見・ご感想をお手紙としてこくわの里まで発送していただけると嬉しいです。

(山根 彩美)

新しく包装の仕方変わってみんな慣れない手つきですが頑張っています。



新しくパッケージが変わりました



## 学校 市役所販売再開

学校・市役所販売はやつと再開できました。納品は十一月で直売所順次終了しました。なかまとの販売もだんだん始まっています。あいさつ・計算・手洗い・うがいなど気をつけることは沢山ありますが、自分たちが作った商品をお客様に喜んで食べてほしいと思っています。

(但木 美和子)

美唄養護学校販売では計算・声掛け頑張ってくれました。先生たちも藤沼さんの成長を嬉しそうに微笑んでいました。

美唄養護学校の販売の様子



市役所販売の様子



久しぶりの市役所販売に行ってきました。亮子さん、お客さんが来ると元気な声で「クッキーいかがですか？」と販売してくれています。帰ってきたからは「楽しかった」とみんなに報告していました。

## 二百号を記念して

編集委員長 山根 彩美

私は編集委員として携ったのが、こくわの里に来て一年目の時に辞める職員がいて、編集委員のお仕事を引き受けました。平成二十八年五月号から初めて記事を書きました。その記事は「こくわの里新体制がスタートしました」と題し、見開きページとして作成しました。写真と文字の配置が難しかったのですが、アドバイスなどもらい完成し、嬉しかったのを思い出します。初めはわからないことだらけで、当時の職員の高坂さんや市原さんに教えてもらいながら覚えていきました。それからお二人が退職されることとなり、平成二十九年五月号より、編集委員長を務めさせていただきました。そこから現在まで（四年間）続けてきました。五年目の今でもわからないことが多く学ぶことがほとんどあり大変ですが、通信が出来上がる度、達成感があり、そんな中二百号という節目に携わることができ、一号目から編集委員として作り上げた皆様の分も、壊さないように歴史が詰まったこくわ通信を大事にしていきたいと思えます。

今後とも編集委員長として恥じないよう、これからもこくわの日常を伝えたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

## 工房の風除室が完成！

たいよう班工房の玄関に風除室ができました。今までは冬の冷たい風や雪をドア一枚でしたいできましたが、これからは寒さもずいぶん緩和されるかと思えます。

風除室がついたことで玄関前のスロープも新しいものに替わりました。

この風除室とスロープがなんとたったの一日で完成したと聞き、とても感動しました！

おかげで寒い冬の時期も快適に過ごせそうです。

(成田 麻子)

